

# 環境学習動画「資源循環が社会を変える!？」

Reduce. Reuse. Recycling.

協会が担っている取組を通じて、多くの方々が資源循環に関心を持ち、ごみの分別など問題解決に向けた主体的な行動を考えていただけるように、環境学習の一環として作成したものです。

3年度の「資源循環が社会を変える!～木材リサイクルの現場を見てみよう～」(木くず編)に続き、4年度は「資源循環が社会を変える!～プラスチックリサイクルの現場を見てみよう～」(プラスチック編)を作成しました。

## 「資源循環が社会を変える!～プラスチックリサイクルの現場を見てみよう～」の概要紹介

### 資源循環とは？

資源循環とは、一度使った資源を、なるべく捨てずに繰り返し利用することです。



私たち千葉県産業資源循環協会は、廃棄物の適正な処理及び再生利用の普及、拡大及び定着を促進することを通じて、資源循環の推進に大きな役割を担っています。

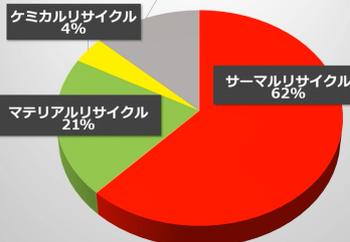
### プラスチックリサイクルの必要性と方法

資源を有効利用するだけでなく、散乱ごみや漂着ごみ、マイクロプラスチックごみなどの環境問題を解決するためにも、プラスチックのリサイクルは大変重要です。

プラスチックのリサイクル方法には、①サーマルリサイクル(62%)、②マテリアルリサイクル(21%)、③ケミカルリサイクル(4%)がありプラスチックごみの87%が有効利用されています。



プラスチックごみ  
824万t



87%を有効利用



リサイクルを行うには、  
分別排出が重要です

### マテリアルリサイクルの現場

使い終わったプラスチックを溶かして原料としてもう一度使う、マテリアルリサイクルを行っている工場に行ってみましょう。



手作業による分別



ケース・ディスクなどを  
素材別に分別



素材ごとに細かく粉碎



熱で溶かし棒状に伸ばして細かく  
刻む



マテリアルリサイクル  
ペレット状の再生原料へ



再生品

使い終わったプラスチックが形を変えて様々な製品になり、有効利用されているんですね。

### サーマルリサイクルの現場(熱回収)

プラスチックを中心に、さまざまな可燃性のごみを受け入れ、ごみを燃やして電気や熱を作っている工場を見ていきましょう。



ストックヤード

集められたごみはストックヤードで保管しピットへ投入



管制室

焼却炉の管理  
大きなクレーンで焼却炉へ



燃焼室



発電機

約300℃の蒸気を作りタービンを回し発電



温水発生機

発電後の約60℃～80℃の蒸気で温水を作る



温室に送水



温室でみょうが栽培

サーマルリサイクルで得られた熱は、この工場のように発電、温室に利用されるほか、暖房や温水の供給などにも利用されます。

# まとめ

ワンウェイ型 → 循環型の経済・社会へ



## 「わければ資源」の、その先

私たちの仕事は、「わければ資源」のその先で、実際にごみを資源に生まれ変わらせ、循環させることです。



この活動は、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール12としても、位置づけられます。

皆さんもぜひ、使う責任を担う立場で、ごみの分別など資源循環のためにできることを考えて実践してくださいね。

2023年1月、協会は「ちばSDGsパートナー」として登録されました

